

2023

令和5年11月29日

第49号

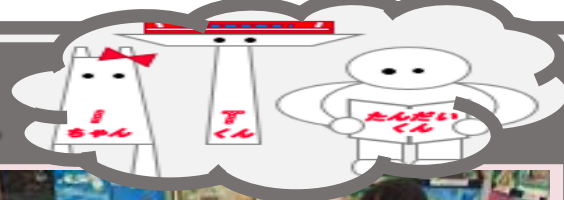
(通算95号)

IBARAKI Prefectural Junior College of Industrial Technology

# IT短大VIEW!



## 1 LED工作、楽しく学べたよ



11月26日(日)、下大野文化祭「下大野サ皆コーまつり」が開催され、多数の来場者が訪れていました。本校では、LED工作の『わくわく☆キラキラ★イリュージョン』、『錯視を楽しもう』『ゴルフゲーム』を実施しました。

晴天に恵まれ、多数の来場者が文化祭を盛り上げていました。本校の体験コーナーも100人を超える参加者がありました。途中、福島伸享衆議院議員にも参加頂きました。体験コーナーに参加した小学3年生のルカさんは「キレイに光る工作なので、楽しく学べました」と友達と嬉しそうに話していました。



↑ ゴルフゲームに夢中になる子供



↑ 完成した回路をチェックする石川先生(左)



↑ 本校の展示ブース

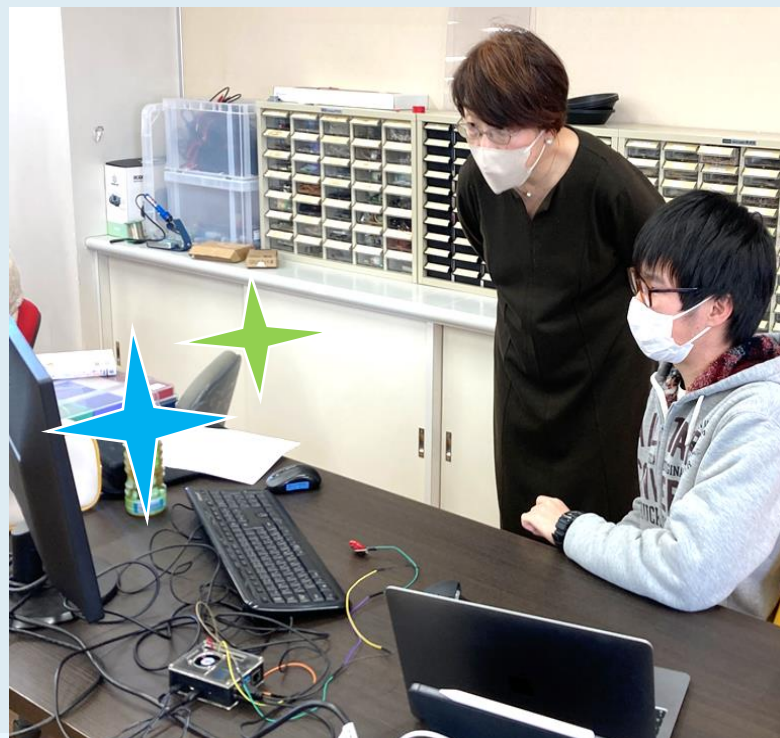
## 2 母校の校長 卒業生応援!

11月29日(水)、県立水戸商業高等学校の

山本俊之校長と、県立勝田高等学校・中等教育学校の下山田芳子校長が、本校のコンクール審査のため来校されました。審査後に卒業生の実習の様子を見学されエールを頂きました。大津さん(水戸商卒)は「校長先生に説明が出来て良かった」、清水さん(勝田高卒)は「驚きましたが、久しぶりにお会いできて嬉しかった」と話していました。



↑ 学生に質問する山本俊之校長(左)



↑ 学生に質問する下山田芳子校長(左)

## 3 記事トレ!



本校では、IT専門力に加え、社会人基礎力の向上のために、「記事トレ」を実施しています。新聞を読んで考える事で、読み解く力を育成します。

<記事> 茨城新聞(2023年11月9日)

### 中学生が安全サミット G7控え大人へ提言

#### ◇要約

##### ●赤津拓実さん(水城高卒)

12月8日に開幕するG7水戸内務・安全担当相会合を前に、市内の中学生らが参加する「MITO16中学生安全サミット」が水戸市民会館で開催される。安全安心をテーマにSNSの危険性や交通事故ゼロを呼びかける取り組みである。

#### ◇感想

##### ●一戸虹都美さん(水戸三高卒)

中学生が、社会の安全を考え発表する機会があることは良いことだと思う。赤塚中の皆さんの、運転手側や道路整備など自分にどうにもできないことに責任を押し付けるのではなく、自分にもできることも提案して良いと思った。

##### ●飯村寧音さん(水城高卒)

実際に中学生の視点で考えることで、大人が気付きにくいことがあるので、身近な問題に対する改善策を出しやすくなったと感じた。

IT業界でも、柔軟な発想力で開発に取り組む若者が多いと感じている。

##### ●皆川航太さん(水城高卒)

子供たちの目線から安全安心をテーマに問題提起し、呼びかける場が用意されているのはいいことだと持った。子供の気づきを侮らず、サポートしてあげられるような大人になろうと思った。

##### ●小野瀬あゆさん(那珂高卒)

中学生が「自分たちが出来ること」として気を付ける点を挙げつつ、自分たちではどうしようもないことは、大人に頼るとするのは良いと思う。形にならなかったとしても、県や市に中学生のメッセージが届けばいいと思った。



茨城県立産業技術短期大学校

URL <http://www.ibaraki-it.ac.jp/> E-mail: [kyoumu@ibaraki-it.ac.jp](mailto:kyoumu@ibaraki-it.ac.jp)

〒311-1131  
茨城県水戸市下大野町6342  
電話029-269-5500

